

府政に新しい息吹を！

大阪府議会議員

しばたにまさや

皆さんのご意見をお寄せください しばたに事務所 〒581-0087 八尾市明美町2-8-26
TEL:072-922-3777 FAX:072-922-0115 MAIL:shibatan@nifty.com

府政報告



平成23年大阪府議会 五月定例会 特集号



しばたに府議の議席番号は11番

議会議員選挙で選出され例れた議員による初の定例会が、五月十九日から六月四日まで開会されました。

しばたに府議は健康福祉常任委員に

府議線「委員会では府民の目に立つて、実りのある」と、しばたに議論を議論に委員会を立てる」



大阪府議会の常任委員会は、かつては本会議からも議案を審査していましたが、現在は常任委員会に所属する議員一人一人が、その専門分野の議案を審査することになりました。このため、府議会では、各専門委員会による議案審査が行われています。

まじめに、ひたむきに、資格と経験を活かして

しばたに匡哉府議のプロフィール

名前：柴谷 匠哉
(しばやに まさや)
誕生日：昭和43年4月30日(42歳)
家族：妻・長男(8歳)、次男(7歳)
尊敬する人：上村鷹山
父、柴谷光謙(前八尾市長)
趣味：野球・ソフトボール
自転車(ロードバイク)
エウティトレーニング
(ベンチプレスは現在130kg)
特技：高校時代は方言語研究部の部長
毎日批評「東人・西人」に出演

学歴：八尾市立 安中小学校 卒業
八尾市立 成法中学校 卒業
大阪府立 布施高等学校 卒業
近畿大学 法学院 法律学科 卒業
神戸大学 大学院 経済学研究科修了
職歴：社会福祉法人 明寿会
税理士法人 アクトバーナーズ
(バートナー税理士)
大阪府議会議員(初当選)
資格：税理士・行政書士
社会福祉士・介護福祉士
企画支援専門員



「数の力」で可決

採決では、公明、民主、共産は、反対民、しばたに府議は、国民党、は意思の齊唱は、当然だと定められた。國歌は、教職員の國歌は、必ずしも、正成一十一年に制定された。今春の入学式で、約九千人の教員のほど見が起立して、実情をえると、条例化する必要はない」と考え方、反対の立場をとりました。しかし、採決では、過半数を握る維新など成多數で可決しなま

六月三日夜、大
阪維新的会（代
表橋下知事）が
提案した「君が
立派な条例」が、
府代会で可決しま
した。

君が代起立条例

審議なしで強行採決

議員定数削減条例

この結果、定数は二一
減となる一方、「一票の
格差」は現在の二・二倍
から二・八八倍に拡大す
ることになり、四年後の
次期府議選から適用され
ます。

選挙が担保されるよう、議員定数のあり方を慎重に審議すべきである。ことから、維新の会は継続審議を求めました。結局、維新は拒否したが、維新は「過半数派を握る」として、維新が欠席する局と、維新が主導権を握る局との間に踏み切りました。

はうとうことはなく、定数八八八で維新案より格差が広がらない代替案を準備し、公明も私案を用意しました。

しばたに市議も議員定数の削減について、勿論賛成の立場は譲ります。しかし、選挙制度は民主主義の必須の基盤であり、より公平・平等な

六月四日未明、大阪維新的会が提案した、現行一〇九の議員定数を八八に大幅削減する条例を可決しました。

夕刊) もののセイジンは議論を積み重ねながら、現実派の賛同を得難い限界には到底達しない。首肯されることは形骸化されてしまう。一方で、現実派は困難を抱えながらも、その力で社会に影響を与えていく。これは、読売新聞が常に追求する精神である。

「民るの覚悟に高い采自を身難を取る。」
「次は多いだらうが4つある。」
「よくいす定めたし他に理あきべきだやね。」
「立判つたのはいい場面が多かった。」
「大阪府議会で、財政委員会が開かれた。」
「中数削減が提案された。」
「内閣が解散した。」
「内閣が倒れた。」

首長と一体化
議会形骸化の懸念

しばたに府議 東日本大震災被災地を視察



想像を絶する光景が広がる被災地



地元宮城県議会議員との意見交換

島市は案内し葬の頂喰や、東に現別島名勝に指定され、いはる湊小学校などを見察する。被災した、府議は「現状のものでした」と述べた。以上の衝突が認められました」と述べ、報道などではなかなが、震災による想を察となりました。

しばたに府議は、東日本大震災から二ヶ月を過ぎた五月二十二日、有志の議員らと、宮城県石巻市の被災地を視察

たて、現状を聞きまし
た。しばたに府議は「被災者の為にスピーディー」に對応しなければ聞かんと、被災者の為よからぬ行政の守る事第一に行われているようで、歯がゆがざまを感じる。今こそ被災者側に立つた迅速で、ます」と訴えてい

しばたに府議らは、地元宮城県議会議員と意見交換会も行い、瓦礫の問題、仮設住宅の問題、義援金の問題等々復興に向けて山積する様々な問題について